

謙虚

「謙虚」の美德は、「私は謙虚です。私は自分の間違いから教訓を学びます。私は学び続けることを大切にし、成長し続けます。」ということ。では、「謙虚さ」とはどのようなことでしょうか。

まず「謙虚さ」があれば、人に良い印象を与えるということは考えません。ただ自分らしく最善を尽くすだけです。例えば、これは自分しかできないというような態度は取りません。喜んで人に奉仕し、人に必要とされていることを感じるだけでいいのです。

また「謙虚さ」があれば、失敗や間違いから教訓を学びます。間違っているときはそれを認め、その間違った行動を改めます。例えば、人が間違っているとしてもそれを許し、いっしょに改めようと勧めます。時として、間違いは最良の先生です。

そして、「謙虚さ」があれば自分を人と比べる代わりに、自分ができることに対して、ただ感謝の思いをもつことでしょう。例えば、何か素晴らしいことを達成したとき、それを自慢するよりも、周りに感謝することの大切さを思い出します。

「謙虚さ」は、人や自分に対して完璧であることは要求せず、互いに学び続ける姿勢を与えてくれます。さらに「謙虚さ」は、人と自分の違いを認めながら、互いの成長を導いてくれるのです。